

## 「神の名をふさわしく呼ぼう」愛と自由に生きる④

出エジプト記20章1～17節



第三の戒めは、「神の名をみだりに口にすること」を禁じています。この戒めを重視したイスラエルの民は、神の名であるיהוהを発音せず、この箇所はその代わりに「アドナイ」と呼びました。その結果このיהוהの読み方がわからなくなってしまうと言われます。しかし神様が求めておられるのはそういうことではないでしょう。

「みだりに」とは、ふさわしくないあり方で口にしてはならないということです。逆に言えばふさわしい唱え方があるということです。

### ① 神はそのご性質を表す名を持っておられる

“モーセは神に言った。「…彼らは『その名は何か』と私に聞くでしょう。私は彼らに何と答えればよいのでしょうか。」神はモーセに仰せられた。「わたしは『わたしはある』という者である。」また仰せられた。「あなたはイスラエルの子らに、こう言わなければならない。

『わたしはある』という方が私をあなたがたのところに遣わされた、と。」”出エジプト3:13-

“見よ、処女が身ごもっている。そして男の子を産む。その名はインマヌエルと呼ばれる。」それは、訳すと「神が私たちとともにおられる」という意味である。”マタイ1:23

### ② 神にふさわしく神の名を呼ぼう

“あなたは、あなたの神、主の名をみだりに口にしてはならない。主は、主の名をみだりに口にする者を罰せずにはおかない。”20:7

“ユダヤ人とギリシア人の区別はありません。同じ主がすべての人の主であり、ご自分を呼び求めるすべての人に豊かに恵みをお与えになるからです。「主の御名を呼び求める者はみな救われる」のです。”ヨハネ10:12-13

“あなたがたがわたしを選んだのではなく、わたしがあなたがたを選び、あなたがたを任命しました。それは、あなたがたが行って実を結び、その実が残るようになるため、また、あなたがたがわたしの名によって父に求めるものをすべて、父が与えてくださるようになるためです。”ヨハネ15:16

### ③ 神の名が刻まれている私たち

“弟子たちは、アンティオキアで、初めてキリスト者と呼ばれるようになった。”使徒11:26

“もしキリストの名のためにのしられるなら、あなたがたは幸いです。栄光の御霊、すなわち神の御霊が、あなたがたの上にとどまってくくださるからです。”1ペテロ4:14

<話し合ってみましょう>

- ・第一の戒めから、第三の戒めまでをふりかえって、どのようなことを学ぶことができましたか。自由に話し合ってみましょう。